

# 『ひび割れのないコンクリート』の岩瀬文夫先生を囲んで技術懇親会報告

(社) 建築士会島尻支部



実施日 平成21年2月26日 (木)

場 所 鳥壱

参加者 (島尻支部会員+賛助会員) 関係者  
+記者 20人

- \* 照屋栄島尻支部監査役より、乾杯・歓迎の挨拶。
- \* これまでスランプ12センチ以下で施工した建物の、疑問点等を、写真を見ながら解説してもらいました。



- \* 岩瀬先生も一緒に、全員で  
長持ちするコンクリートを打つぞ〜！オー！

平成21年2月27日 (金)

- \* 岩瀬先生の講演会の後、  
日本全国12カ所の講演終了の打ち上げ。

平成21年2月28日 (土)

- \* 実際にスランプ12センチ以下で施工した建物を3件見て、解説してもらいました。
- \* 壁上部、下部のコンクリート密度の違いで、色むらがある。上部に、砂利を撒いたり、タンピングなどで圧をかける。セメント量を多くする。(配合計画の検討が必要)
- \* ビニール養生をしにくい環境にある。(風が強い/気温が高い)、  
水ガラスの塗布が有効である。
- \* 沖縄は、気温が高いので、セメント粒子による硬化速度が異なり、気泡の様な円い跡がある。  
散水等で、気温や型枠温度を下げる工夫が必要。



岩瀬先生からのメールの抜粋。3月1日

・・・私の住まいから最も遠い沖縄から、我が国のコンクリート神話の復活が始まろうとは思ってもよらぬことでした。それだけ沖縄の方は素直な方が多いのでしょう。本当に羨ましい限りです。  
ご一緒下さった皆様方にも宜しくお伝え下さい。2  
コンクリートの質は、それを造りだす人々の思い次第であると確信しています。人々が耐久的な質を求めさえすれば必ずや実現するはずです。これからも、ひび割れのないコンクリート造りを目指して宜しくお願い致します。